

# 全姉連会報

姉 属性専門誌



# 全姉連会報 第21号

## 表紙イラスト：姉月 愛様

『ラブライブ！』の「のぞえり」こと、東條希先輩&絢瀬絵里先輩にご登場いただきました！  
先輩キャラのコンビとして、また、絵師の姉月様のご趣味からの人選です！(笑)

## 『姉がいるキセキ』（音音）

姉コミックファン待望の音音先生の単行本3冊目。もちろんオール実姉弟です！

## 『姉キュン』（柚木N'）

多方面で活躍中の柚木N'先生、ホームグラウンドの姉コミックに帰って来てくれました。

## 『修羅場だと思っていたら姉妹丼だった件』

(著・筆祭競介／イラスト・わつきるみ)

幼なじみの姉妹が主人公を巡って修羅場突入！ 姉VS妹の争奪戦の行方は!?

## 『嫁姉ッ！』（著・089タロー／イラスト・桃月すず）

個性的な姉3人の花嫁修行、コーチ役は弟!? 姉弟愛あふれる家族模様を描きます。

## 『姉妹サンド』（内村かなめ）

姉と妹に挟まれる超勝ち組のきょうだい構成。そんな夢の生活の実態は……

## 『そして姉は弟（ボク）を選ぶ』（安原司）

比較的ダウナー系の姉コミック中心。プラコン姉の想いの深さを読み取ってください。

## 『あねちち』（はんぺら）

無垢な男の子にお姉さんが……。おねショタ系がお得意な著者の新刊です。

## 『ほとんどの姉はHがしたい』（聖☆司）

商業・同人で注目を浴びる聖☆司先生、姉愛をたっぷり詰め込んでくれました。

全姉連のレビューは「姉萌え」至上主義。評価基準は、「姉萌えか否か」。

本文中で引用した画像、文章の著作権は、すべて各著者様にあります。



求める姉がここにいる!!!

アナ好みの姉ときっと出逢える…  
実姉至上主義宣言!!

## ■“実姉”漫画家音音先生

音音先生といえば自他共に認める姉漫画家……と紹介するところですが、音音先生の場合は特に「実姉漫画家」とお呼びしなければ、各方面からお叱りが来てしまします。

この業界、他にも姉漫画家は数多けれど、音音先生はとことん実姉主義を掲げ、しかも発表する作品がことごとく実姉もの。

『姉がいるキセキ』って書名も、実姉だからこそ意味を持つ言葉ですね。義姉や隣のお姉さんでは「キセキ」より「グウゼン」程度？

実際に姉がいて仲の良い弟には、それがキセキであることを改めて噛みしめるきっかけに、残念ながら今生では実姉に出会えなかった子は、そのキセキが叶わなかつた分自由な妄想ができる強みを活かして、全ページ実姉であふれた本書を楽しんでみてください。

# 姉がいるキセキ

著者	音音
発行	メガストアコミックス
発行日	2014年5月9日

## ■各話紹介

本書は2011年から2014年までに雑誌掲載された作品から8本を収録。

断り書きをするまでもなく、以下すべての登場姉弟は、実の姉と弟です。

どれもみな、弟大好きお姉ちゃんと、お姉ちゃん大好き弟とのイチャラブ姉弟模様が綴られています。

### 「姉(ねえ)お願ひ」

巻頭カラーを含む、冒頭収録の作品。

子どもの頃、いたずら好きで横暴な姉が苦手だった弟は、本当は大の甘えん坊。今は進学して家を離れた姉を想い、もっと姉に甘えたかったとため息をついていた。

そんな矢先、弟の誕生日を祝うために帰ってきた姉。昔から弟の誕生日だけは妙に優しくて、何でもお願いをきいてくれた彼女は、今年も弟のお願いを叶えてあげると迫ってきて……。

まるで赤ちゃん返りしたかのように夢中で姉にしゃぶりついて甘える弟の姿。

そんな弟を可愛く思い、自分がこの子の姉で良かったと幸せそうなお姉ちゃんの姿。

これでもう十分に姉漫画の使命は果たしているわけですが、この作品のテーマ「姉弟の誕生日」に注目。

お姉ちゃんが弟の誕生日を特別に考えているのは、その日が「私を姉してくれた日」だったから。

「今日は私じゃなくて姉（わたし）の誕生日… 私たち姉弟の誕生日なのよ」



そう、弟が生まれた目は、“姉”が生まれた日でもあるのです。だから、お姉ちゃんは、弟の誕生日を誰よりも祝いたかった。

弟が生きてきてくれて、自分と弟が姉弟になれたことに感謝する日、それが弟の誕生日の真の意味。実際に熱い姉弟愛が伝わってきます。

### 「男女になった日・姉弟に戻った日」

一見、仲の良さそうな若奥様と旦那様の夫婦の姿。

しかし、それは世を忍ぶ仮の姿。



この2人は、実の姉弟。今は2人暮らしで夫婦同然。

話は高校生にさかのぼる。それまでは普通の姉弟だった2人が、あるきっかけで相思相愛であることに気付き、一線を越えてから男と女の関係になったと自覚する。

「もうあの頃には戻れない」

近親モノでよくあるように、この2人もそう思っていたが、戻ることだって出来るのだと今では思うようになる過程が描かれ

ます。

作品の主題もさることながら、姉弟がまるで夫婦のように生活をしている様子に生々しさを感じます。

後ろ指さされることを恐れ、顔見知りのいない地で、実の姉弟であることを隠して夫婦を装って生活する姉弟。誰にも祝福されることはないけれど、2人幸せならばそれでいい……。切ないロマンがあるじゃないですか。

現実にもきっとあると思います。社会的には辛いことが多くても、そんな姉弟に幸多かれ。

### 「友達？バカ言うな 彼女？とんでもないお姉ちゃんです！」

海水浴をするには季節外れの海辺へ、姉に連れだされた弟。

いつも姉のことを名前呼びして、友達感覚の関係で来た弟に対し、私のことを「お姉ちゃん」って呼んでみて欲しいとお願いする姉。

照れながらも「お姉ちゃん」と呼んでみたところ、お姉ちゃん大喜び。

…ここまででは、姉モノで時々みかけるシーンですが、この後、弟のほうが興奮しちゃうという変化球。



「お姉ちゃん」と口にしてみたら、己の中の姉属性を発見してドキドキした弟。お姉ちゃんはお姉ちゃんで、改めて自身の姉に目覚め、弟を激しく愛し始める。

え？ それって、姉属性に目覚めたら、もう目の前に実の姉がいたって話でしょ？ なにその幸せの青い鳥を見つけて、その青い鳥も逃げずにいちやいちやする話！

『姉がいるキセキ』ってのは、こういうことを指すんですね。うらやまけしからん。

## 「姉が異常すぎて困る」

音音先生、ヤンデレ姉に挑戦！



25歳のいい年

した姉は、今でも  
ブラコンが過ぎ  
て、制服姿で弟の  
周囲を監視しち  
ゃうお茶目さん。  
監視を続ける  
ため、教師となっ  
て弟の通う学校  
に着任する。

少しでも弟に言い寄るような女生徒には、  
教師兼実姉の圧力をかけて追い払い、弟に  
対しては、あらぬ疑惑で不信を抱いて、お  
仕置きの放置プレイ。

ヤンデレ志向とは言え、刃傷沙汰に至ることもなく、結局は姉と弟の甘甘プレイがメインになってしまっているのが、いい意味で音音先生のヘタレ弟らしさを表しているたり？

## 「姉のもの。弟のもの。」

きっかけは、弟が姉をネタに勧んでいたところを偶然見つかってしまい……というもの。

この作品の注目点は、「黒髪ぱつん」「おねショタ風味」「ちょいS姉」です。いずれも、音音先生の姉漫画では希少に思えるので、もしその属性があれば、かなり嬉しい作品となるはず。

内気そうな弟を相手に、お嬢様系の黒髪ぱつんお姉ちゃんがSっぽい命令口調で

弟を積極的にリードする流れは、実の姉と弟の背徳感に独特の妖艶な魅力をプラス。



笑顔とキツい目付きの顔のギャップが、Mっ弟（二）の心を捕えます。

## 「姉に帰る」

田舎には何もないと見切りをつけ、夢を求めて東京に出てきたが、バイトに追われるだけの弟主人公。ある日、田舎から遊びに出て来た姉と東京見物して、姉弟水入らずの1日を過ごすうちに、気付かされたこととは……。



田舎育ちの純朴なお姉ちゃんが、弟の心を敏感に感じ取り、多くは語らず優しく弟を抱き締めるところからの描写が特に素晴らしい。

『姉がいるキセキ』の書名にもつながるテーマが込められていて、心あたたまる読後感があります。

## ■一生、姉萌えします！

姉単行本も3冊目を迎えてますます深みと読み応えに磨きがかかっています。

各話ごとに描き下ろしイラスト付きの著者解説ページが用意され、音音先生の姉思想・姉ポリシーが読めるのも楽しみの一つです。



# 姉キュン！

著者	柚木N'
発行	茜新社 TENMA COMICS
発行日	2014年7月10日

ちなみに、柚木N'先生はその実力を買われ、一般誌でゲームのコミカラーズなども描かれるなど幅広くご活躍中。その結果、本業でもある姉漫画のクオリティもアップしていて、本当に目が離せません。

## 姉と結ばれるシアワセ

男子たるもの姉にメロメロになって当然!  
貴方を優しく包み込む姉ワールドへようこそ  
「あね」と打ったら「柚木N」と予測変換されても  
不思議ではない姉エロ漫画界のエースが送る、最新單行本!!  
理想の姉がきっと居ます

## ■全姉連ご鼎巣姉漫画家

もはや完全に姉漫画家の五指？　いや四天王？　の知名度と人気を勝ち得ている姉漫画家・柚木N'先生。

昔、姉単行本を出され始めた頃、先生のスペースで新刊を買い求めた時、ぜひ一言応援をしたいと売り子の美人コスプレお姉さんに「柚木N'先生は…」と声をかけたら、誰あろう先生ご本人だったという衝撃体験から、この先生には一生付いて行くしかないと心に決めたものです。

そんな事情もあって、柚木N'先生は総裁としてもえこひいきして紹介する姉漫画さんですが、読者諸弟には異議を唱えさせない自信はあります。

## ■各話あらすじ

本書には8作品10話が収録（うち2話は前後編モノ）。

構成は、実姉は5作品、幼馴染お姉さん2作品、先輩1作品。

鬱展開・NTRはゼロ。甘イチャ系でブラコン姉が勢ぞろいした姉天国が待っています。

本書のカバーワークには、著者自らの各話コメントが書かれていますので、それも踏まえて紹介します。

## 「NO PLAN♡ふれい」

ふとした瞬間

すぐ弟のことを考えている自分に気がついた  
ブラコンなのかもな…って自覚はあった

表には出さないが、自分はブラコンなんだと気付いているお姉ちゃん。

就活中でお疲れのお姉ちゃんが、弟と二人っきりのある晩、弟にマッサージしてもらっているうちに、お互いの気持ちが高ぶってきて……というストーリー。

著者自ら「何も捻らずストレートな姉漫画」とコメントしているように、確かにその展開はありふれたものなんですが、お姉ちゃんが恐る恐る弟にアプローチする様子、思いがけない弟の反応に動搖する様子、思いっきり恥ずかしがりながら弟に愛を告白してベッドに誘う様子……どれを取っても素晴らしい。

こうした展開を印象深くしているのは、姉のモノローグ。

口には出さないが、弟の反応にドキドキしたり、嬉しさでテンパっている気持ちであたふたしていたり。

オープンに「〇〇くん、大好きだよっ！」と声を出すブラコン姉とは全く違う、照れ屋なお姉ちゃんが可愛い。

また、各自の好みの問題ですが、総裁は姉視点で進む姉漫画が好物です。

来世の第一希望は姉持ちの弟になることですが、第二希望は弟持ちの姉になることです。お姉ちゃんを押し倒して「姉ちゃん、俺、俺っ！」をするのと同じくらい、自分が姉で、その弟に押し倒されて「キャッ！ 〇〇くん、お姉ちゃんのこと、どうしたいの？（期待感あふれる目で）」もしてみたい。その希望が叶うよう、全姉連は日々善行を積み、近親相姦の正当な賛美活動を行っているのです！

話は元に戻して、ブラコン姉が弟のことを想うその気持ちを読むのが好みという読者なら、この話はストライクのはず。

かの姉漫画『姉ログ』が好きなのも、姉の内心を描いている漫画だからなのか、と今気付きました。



## 「むち姉。」（前後編）

食べるのが好きで、ついむっちりボディ（胸も含む）になってしまっているお姉ちゃんに、弟の理性は崩壊寸前。

前編では、姉弟そろってダイエットに取り組むことになり、バテバテになりながらお姉ちゃんが告げた頑張る理由を聞いた弟は、姉への想いをこらえきれなくなつて……というストーリー。

頑張る理由とはもちろん、弟に褒められたい、スタイルの良い自分を弟に見てもらいたいというブラコン姉ならみんなが思うようなもの。

無駄にブクブク太っているならともかく、むっちりでふよんふよんのレベルなら、ガリガリよりも好きだなあって弟は多いと思いますけどね。って、ここで言っても世間のお姉さん達には伝わりませんが。

この話の最大の魅力は、お姉ちゃんの可愛さ。幸せそう

によく食べて、むっちりタイプにありがちなマイペースでぽわんとした性格で、不意打ちに弱くてオロオロしゃう女の子。姉御肌とは真逆のタイプなのに、この1冊の中で最も俺のお姉ちゃんになって欲しいタイプでした。

続く後編では、結ばれた二人がデートをすることになったのに、アクシデントでデートは中止。引き返した家でしょんぼりしていると、弟はあるものを見つけてムラッとてしまい……。

前編がおっぱい重視なら、後編はお尻重視。弟がお姉ちゃんのお尻に夢中になっていると、目に付いたのはパンツ痕。聞けば、弟とせっかくのデートなんだからと勝負パンツのせい。



「デ…デートの日くらい…下着もかわいいのにしたいなあ…って そういう…お姉ちゃん心…です」

お姉ちゃんが照れ照れで白状するこのシーンが可愛さ爆発！ 今すぐ俺が抱き締めたい！ と思ったら、次のコマで弟が抱き締めていました。



## 「女子が家に来た！」（前後編）

1ページ目から飛び込む“弟が女友達を自宅に連れてきた”シーン！

普通の男読者視点なら、「ヤバっ、見られた」と感じるのが通常なのに、姉漫画ばかり読んでいると、とっさに「み、見ちゃった……！（あれ、俺、なんで姉視点？）」と思うようになります。末期的ですね。

で、この後は嫉妬から来るいたずら心で、お姉ちゃんが何かと理由を付けて弟の部屋を訪ねて邪魔をするのがお約束。

でも、ここのお姉ちゃんはとても弱気で内向的な性格ゆえに、弟に泣き顔メールで傷心を訴え、それを放つておけない弟はお姉ちゃんの部屋へご機嫌取りに……。

おとなしそうなお姉ちゃんが、部屋でムスッと拗ねてる様子が、言葉抜きでブラコンを表現していて上手いなと思わせるところです。

弟は、お姉ちゃんを



慰めるため、激しめのキス……どころか、どんどんエスカレート。いかにも奥手そうなお姉ちゃんが大胆に受け容れていくのが意外な感じでそそります。

ひとしきり姉に満足してもらった後は、自室に戻り、なんとそのまま彼女と……。ここは意見が分かれそうなところですね。

ただ、そのフォローは後編できちんと用意されています。

「さっきの娘と付き合うの？」と姉に問われ、しどろもどろになる弟。ダメだこの弟！ 俺に代われ！ でもって、弟に感情移入すれば、その後はお姉ちゃんと甘甘イチャラブが用意されています。

## 「スキ・キライ・ダイスキ。りたーんず」

『姉恋』に収録され、OVA化もされた作品の後日談。

大学に進学した姉の引越先で、酔っ払った姉に絡まれ……。

姉ちゃん（ツンデレ一級）が、酒のせいでデレモードに入り、全然弟離れできていない一面を覗かせます。

ツンもデレも美味しすぎる姉ちゃん。さらに続編の続編とか描いてくれないかなあ。



## ■ごちそうさまでした

お姉ちゃん達の可愛さ際立つ単行本。

成年コミックとしても十分過ぎるエチい内容なのに、読み返したくなるシーンは、どれもお姉ちゃんの日常のセリフや立ち居振る舞いででした。

次も、弟が好きでたまらないオーラがダダ漏れなお姉ちゃんをお願いします！



## 修羅場だと思っていたら 姉妹井だった件

著者	筆祭競介
イラスト	わつきるみ
発行	二次元ドリーム文庫

幼なじみの清香に片想いをしながらも告白ができない祥吾。ところが、彼の初恋の相手であり清香の姉でもある澪がアメリカから戻ってきたことで、二人の関係が変わり始めて!?

清楚な清香と積極的な澪——

正反対な姉妹が祥吾を奪いあうドキドキの修羅場が勃発する!

### ■修羅場が見どころ!?

初めに断っておくと、登場する姉妹は主人公の幼なじみ姉妹です。主人公は「お姉ちゃん」と呼びかけたりしますが、背徳感はゼロ、親近感もやや低いです。ごめんなさいね、個人的に姉妹モノのブームが来ている時期に触れた作品なものだから、仕方なかったんです。

さて、書名から想像できるように、優柔不断な主人公が、幼なじみ姉妹から同時に狙われる関係となり、ある時は修羅場、ある時は姉妹井を経験することになり……というストーリー。

修羅場と姉妹井が同時って言っても、結局姉妹でイチャラブばかりでしょ? と思いまして、案外修羅場に力が入っています。

姉妹間の協力プレイよりも争奪戦に重点を置いた作りは、明快かつ正解。しかも、

これが他人同士の争奪戦だとなりふり構わずエゲツない戦いになりそうなものを、お互いよく知り合っている間柄ゆえの巧みな心理戦や駆け引きが展開される上、年長者の優位を最大限活かそうとする姉と、こればかりは譲りませんと静かに牙を剥く妹の対決姿勢が、身内好きにはたまりません。

ここで姉妹を紹介すると、姉の澪お姉ちゃんは留学先のアメリカからの帰国子女で、アメリカナイズされた抜群のスタイルと陽気で勝ち気な性格で、年下誘惑テクが得意なセクシーお姉さん。主人公の初恋相手。他のことなら何でも妹に譲るくらいに妹思いだが、主人公のことだけは譲れないとの手この手で妹に対抗する。

一方の妹・清香は、姉とは正反対にお淑やかで清楚な大和撫子型。自分からは言い出せず、主人公を一途に想う姿は幼なじみの理想型。なお、「妹」はあくまで姉に対する地位であり、主人公と兄妹のような関係性はありません。

主人公は中性的なショタ系。彼が妹の方に告白したタイミングでお姉ちゃんが突然の帰国。返事を聞けないうちに、お姉ちゃんから猛然アタックされ一度は落とされるが、それを知った妹は……となります。

姉は姉らしい年下の攻め方が、妹は姉への対抗心が読んでいて楽しく、姉妹モノとして成功しているノベルでした。



三人の姉の花嫁修業を手伝うはずが  
いつのまにか姉ハーレムルート直行!?

三人の姉を立派な淑女にするべく  
花嫁修業に付き合うことになった末弟の弘行。  
小悪魔的な長女の愛華、  
家事が全くできない剣道少女の次女桜子、  
無口で気配り上手な三女加奈子たちは  
大好きな弟を相手にヤル気マンマン！

修業の合間に柔らか姉ボディで誘惑したり、  
夜の花嫁修業にも精を出したり…！

## ■リアル姉持ちの試練といえば

リアル姉持ちの諸君！  
君等の愛する姉は、いずれ（あるいはもう既に）よその男のもとへ嫁いでいくことが大半であろう。その時、果たして君等は精神を正常に保っていられるだろうか？

姉と最も長い時間を過ごしてきた君等を差し置き、横から姉をさらわしていく試練が弟には課せられているのである。

この点において、我らリアル姉を持たざる者共は勝者。負け惜しみではない！

あ、でもブラコンのせいで嫁に行けなか

# 嫁姉ッ！

**お姉ちゃんの愛情は無限大！  
弟とだったら子作りもOK！**

著者	089タロー
イラスト	桃月すず
発行	二次元ドリーム文庫

った姉と、シスコンのせいで結婚できない弟コンビだったりすると無敵か。くっ。

## ■花嫁修業名目の新婚生活？

本書『嫁姉ッ！』は、タイトルだけ見ればお姉ちゃんを嫁にするところから始まるようにも見えますが、あらすじ紹介のとおり、3人の姉の花嫁修業を弟が手伝うストーリー。

ただし、お姉ちゃん達が他人と結婚することが決まってからの話ではありません。旧家の家柄に生まれ、将来は立派な妻となるべき3人の娘が、現状その将来に不安があるので、今から花嫁修行せよ、という話。

その花嫁修業のコーチには、家事を鍛えられてきた弟（理由は推して知るべし。）が選ばれ、姉弟だけの生活が始まります。

ただ、花嫁修業とは名ばかり、その実態は新婚生活のリハーサルともいいうべき同棲生活。姉弟にとっては今までの同居と変わらなくても、花嫁修業と名が付くことで姉3人のブラ魂（コン）に火が付いて……と。

擬似新婚生活を描いた二次元ドリーム文庫なら姉弟のドロドロ愛欲生活だろうと思ったら、その内容は純愛路線。

「花嫁」「結婚」といった具体的な言葉が姉弟の心を揺さぶり、互いの積もった想いを解き放つきっかけとなる。

かくして、花嫁修業は姉弟愛の確認作業となり、姉との子作りをする花婿修行にもなっていくのでした。

## ■登場人物

3人の姉とは1人1章ずつ結ばれていき、最後は期待通りの姉ハーレム。

姉妹間の駆け引きは控えめでも、相互の仲の良い関係が窺える掛け合いが散りばめられ、大家族感も伝わってきます。

### ・愛華お姉ちゃん（長女）

美人でスタイル抜群のボディ、学業も常にトップクラス。言い寄る男は数知れず。

外見は完璧なスーパーレディ。しかし、自宅では自堕落なお姉さんだった……！

弟のエッチな興味にも寛容で、胸の押し付けくらいは当たり前。下は下着一枚、上はタオルを首からかけるだけで歩きまわって弟を惑わせる罪な姉。

こんな小悪魔なお姉さんってだけでもう十分なんですが、さらに明らかになる設定が素晴らしい。

このゲータラ姉さん、実はわざと本気を出していない、何でも出来る有能な才女。

「アンタには才能がある。いい男になれる。そう思ったから、わたしは——アンタを、弘行を支える女になろうと決めたの。可愛い可愛い弟を、全力でバックアップすると決めたの。」

弟が一家を継ぐに値する男と見抜き、その力を存分に發揮させるため、敢えて一步引いて弟を支える姉であることを決め、自分は堕落を演出していただけ。

そのことを吐露する姉の姿は、弟のため生きたいと思う姉の愛情が伝わる本書随一の名シーンです。

今はまだ姉の方が一枚上手で、行為中もお姉ちゃんにもてあそぼれたりするのに、

すべては弟のためと知ってからは、それが姉としての愛情表現に映るはず。

### ・桜子お姉ちゃん（二女）

剣道部員で運動が得意なスポーツ少女。反面、家事の類は壊滅的に不器用。

体育会系らしい真っ直ぐでカッコいい性格と、純情なプラコン心が同居する、愛すべき姉キャラ。

長女に対する引け目や自信の無さをこぼす場面もありますが、思わず「そんなことない！ 姉さんは素敵なお姉さんだ！」と言いたくなるような姉です。

「……そう、だな。わたしは不器用だ。こんな女、ろくに嫁にも出でていけまい。ならばヒロに……なによりも愛しい弟に、操を捧げても…」

### ・加奈子お姉ちゃん（三女）

何かと賑やかな姉2人と対照的に物静かで、セリフに「…」が多いお姉ちゃん。

家事は元々できる方なので、花嫁修業の目的は、もっぱら内気な性格の改善の様子。実は弟にお仕置きして欲しい願望のある彼女はわざと失敗することも……。

弟としても姉の気持ちを読み取って、あくまでプレイ的にお姉ちゃんのお尻をぺんぺん。恥ずかしがるお姉ちゃんの姿は、たとえ全M連諸君でも釘付けでしょう。

「はううっ！ あう、ヒロくうん…… お、お尻、ぺんぺんなんてえ……」

## ■姉弟愛感じる姉ノベ

姉が弟をどう思っているか、それに弟がどう応えるかがきちんと描かれている良作。

どのお姉ちゃんも、弟のことを第一に考え、そこに姉弟愛が読み取れる作品として満足度の高い1冊でした。



## 姉妹サンド

著者	内村かなめ
発行	竹書房バンブーコミックス
発行日	2014年5月10日

さらには姉も妹も行ける両刀遣いなら、幸福度2倍！

### (2) 「姉妹」を眺められる

姉だけでなく「姉妹」という組み合わせが好き、って方もいるでしょう。

姉弟でもない兄妹でもない、姉妹が家族にいる生活。

もしその姉がシスコンでもあったら、妹とイチャイチャする姉の姿も見られるってことですよハラショー！

…と、そんな理由で、姉持ちの上を行く姉妹持ちへの憧れから手に取った本作品。

そこには確かに、小弟の期待する生活がありました。ありましたが、姉妹にサンドされた男の別の姿も見えてきたのでした。

姉で笑うものは、妹に泣かされる。

ツンデレな姉と小悪魔な妹。二人に翻弄されまくる甘く楽しい板挟み！

セクシーおっぱい！？ な姉と小悪魔かわいい妹の間にうまれた男ゆーたの日常とは？

姉妹にはさまれ肩身の狭い毎日、意地悪わがままされ放題だけど、時々甘えられたりなつかれちゃったりすると嬉しくってなんにも言えなくなっちゃうテヘ！

…そんな男じゃダメですか！？

内村かなめの真骨頂の姉妹4コマ！！

### ■「サンド」ではなく、「サンド」である

リアル姉持ちは勝ち組だエリートだと、尊敬と妬みの目で見られるのが全姉連界隈でのお約束ですが、その中でも勝ち組中の勝ち組、エリート中のエリートといえば、「姉と妹に挟まれた長男」。

#### (1) 姉萌え・妹萌えの両対応可能

我々、姉属性に目覚めたら、姉が欲しいor姉がいて良かった、ってことになるわけですが、もし妹萌えに転んでも対応が可能。たった一度の人生で、こんな保険がかけられるなんてありえん！

### ■リアルな姉妹サンド生活

主人公ゆーたは高校生で、上には社会人のかなえ姉さん、下には中学生の妹みゆを持つ、まさに姉妹サンドイッチ状態の3人。親の再婚で云々のような設定は出てきません。

『姉妹サンド』は、この3人の家庭を舞台にした、特に奇抜な設定や特殊な事情もない、安定した日常系の4コマです。

姉さんは、公式にはツンデレと紹介されていますが、弟・妹いじりが好きで、よくちよつかいを出すものの、構ってくれないとすねるような、きょうだい大好き系。ブラコン・シスコンと言うほどではないが、

大事に思っていることは間違いないと思わせる描写は多数あります。



姉さんの外の顔は作中ではあまり出ませんが、家の中では割と油断して、時にがさつ。その意味では、とても現実感のある姉設定です。

あと、豊乳。



一方、妹のみゅちゃんは、公式で「小悪魔」と紹介されていますが、結構純真なので、正確には天然小悪魔。ただ、時折冷静な突っ込みを見せる場面あります。

いつも兄の後を付いてきていた妹が、さすがにベタベタはしなくなった感じです。

(ちなみに、彼女には同級生の好きな男の子がいて、その子にアタックする話も出てくるんですが、妹マニアには大不評か!?)

なお、ゆ一たは、姉妹の言うことには逆らえない(ように育てられた)、ややヘタレ系男子。姉に男の影が見えないことに安心し、妹に好きな子ができると聞いて焦る程度にはシスコン。

この姉妹に挟まれる、何とも羨ましい生活(これが非現実的な話ならともかく、現実感があるから余計ウラヤマ)が綴られるわけですが、全姉連的注目点は主に2つ。

1つめは、やはり同居姉妹とのごくありふれた日常シーン。

お風呂と湯上がり後の姉・弟・妹の騒動、姉が熱を出して寝込む話、きょうだい3人



のデート、クリスマス、お正月、バレンタイン……

どこにでもあるきょうだいの日常が、気取らない素の姿で賑やかに、コミカルに描かれています。

弟君、お姉ちゃんに振り回され気味なのも、個人的には◎。

そして2つめは、姉と妹に挟まれた男の家族関係やヒエラルキー。

『姉妹サンド』と言うんだから、姉と妹を持つ男は、その2人に両ばさみにされる生活だと思っていたのだが……、違った。

「姉」VS「弟」VS「妹」ってものではなくて、「姉妹」VS「弟」だったんだ……!

男女比が1対1ならば、せめて妹になら勝ち目はあっても、女2人が姉妹として結託すると、男に一切勝ち目はないことがよく分かります。

そうして孤立した弟には発言権も拒否権も無く、姉妹に従う以外に道は残されていない。



リアル姉妹に挟まれた中間男子諸君、実は苦労してるんですね。

でも、私でよければ、来世と言わず現世でその地位替わりますけど?

## ■「姉妹」対「弟」!?

3人のうちトップの地位とおっぱいを利用した弟妹いじりが好きな姉。甘え声とジト目を使い分け、天然で兄を惑わす妹。

この姉妹連合軍に立ち向かう弟の構図が楽しい漫画でした。



## そして、 姉は弟（ボク）を選ぶ

著者	安原 司
発行	ティーアイネット MUJIN COMICS
発行日	2014年4月18日

1人の姉と深い関係を結んでいく過程を読む複数話+ダウナー系、にそれぞれ好みが片寄っていくように思われます。(もちろん、その作品の姉萌え的な出来具合が左右するのは当然として。)

ここで取り上げる本書は、4話+2話ものの構成と、敢えて分類すればややダウナー系のストーリーを収録。となれば、姉持ち派に向いているとも言えますが、姉なしつ子の小弟でも思うところのある姉コミックだったのでご紹介。

「姉ちゃん、シリ垂れたんじゃね？」  
弟・直志のふとした軽口で、姉・由希はご立腹。  
姉に謝ろうと部屋を覗いた直志が見たのは、デカ尻を揺らしながらエクササイズする由希の姿だった！  
姉の汗まみれの尻と太モモに勃起する直志。だが、ソレを由希に気づかれてしまう！  
姉は、平謝りの直志に要求する。  
「今ここで、その勃起したモノを、いじって見せてよ！」

### ■ストーリーで読ませます

姉コミック、それも成年コミックの姉モノの好み、ありますか？ 1話読み切りか、それとも複数話に渡る中・長編か。

ストーリーは、終始明るい雰囲気のなかブラコン姉とイチャイチャする日常を描くアップ一系か、それとも姉弟の背徳感を押し出しながら、近親のタブーの前に閉塞感をただよわせるダウナー系か。

あくまで小弟の勝手な想像ですが、姉に憧れる姉なしつ子は「こんなお姉ちゃんがいたら良かったのに」妄想の糧として、1冊で多くの姉に触れられ、夢をふくらませる1話読み切り+アップ一系、逆に姉持ちの弟は、現実的な背徳感を捉え、自らの境遇と重ねあわせることができるだけあって、

### ■各話あらすじ

上述のとおり、4話からなる「姉♥むち」と、前後編2話からなる「クローバー」の計6話を収録したのが本書。1話30ページなので、1冊のページ数としては平均的な部類に入ります。

#### 「姉♥むち」

姉の後ろ姿を見て弟がつぶやいた、「姉ちゃん 尻垂れたんじゃね？」の一言でお姉ちゃんビンタが炸裂し、姉から完全無視されることになった弟の直志。

実は隠れシスコンの彼にとってかなり辛いこの状況を打破し、仲直りの機会をうかがっていた折、姉弟二人きりの夜が訪れ……という出だし。

話の本筋と関係ないのですが、家族間で

ケンカして冷戦状態になるこの感覚、独り暮らしして長い筆者には懐かしさを感じます。こういうシーンが、家族モノならでは。

さて、弟が偶然覗いてしまったのは、お尻を引き締める運動中の姉の姿。その弟が興奮していたのを発見した姉は、罰として今ここでそれを鎮めるよう言いつける。



大好きな姉ちゃんと関係修復したい気持ちと収まらない興奮で言いなりになる弟。

一方、姉もかなりのブラコンであることが明らかになっていき、エスカレートする弟の甘えに応じて押し倒されていく……。

姉のモノローグは、弟の名前「直志」に「おとうと」のルビを振って姉弟感をあおるなど、姉モノの配慮は十分。

あとがきによれば、もともとこれは1話読み切りだったそうですが、話は第2話以降に続きます。そこで1ページ目から飛び込むのは、姉ちゃんが他の男と絡んでいる姿を覗き見ている弟！

ここで姉ちゃんの、いけ好かない後輩によるNTRが挟み込まれます。理由はどうあれ姉のNTRはキツいって方は、ここでご退場です。

半ば騙される感じで押し倒される姉。NTRの定番、「ごめんね、〇〇」のセリフ。「〇〇」は、第1話と対照的に、「弟」と書いて「直志」のルビが振られています。

もっとも、救いがあるのは、この後3話と4話で、弟とより深くつながって姉弟愛を確認するシーンに力が入っていること。

弟とデキていることを知ったソイツは、その事実をネットに流すと脅すが、それに対して弟がとった行動は——。

最終的には姉弟で結ばれ、最後も形の上

ではハッピーエンド。ただ、その方法は追い詰められた者の開き直りで、世界を敵に回しても、といった危うさを感じるものなので、私はダウナー系と見ましたが、貴弟の目にはどのように映るでしょうか。

## 「クローバー」

男主人公は、既婚の社会人。

ある日、自宅に帰ると、妻と一緒に女性が来客中。この女性、どこかで見覚えがあるが、いやそんなまさか……。

そう、その女性は、かつて両親の離婚により十年前に生き別れた実の姉だった、というもの。はっきり姉と確信したのは、生き別れる直前に思い出作りとして姉弟で重ねた体の記憶。それをさまざまと思い出し、今再び姉弟愛が燃え上がる。

注目点は、姉弟それぞれアラサーで、特に姉は熟女的な匂いさえ漂わせているところ。姉モノといえば上は二十代が主流のところ、これは珍しい。



思えば、熟女のな妖艶キャラと姉弟モノは、同じ年上ベクトルなのになかなかダブルしないネタでした。

もう一つの注目は、既に妻のいる主人公がその妻を裏切り、実姉との密通にはまっていく背徳感を匂わせている点。いや、さすがに未婚独身・姉無しの小弟にこの背徳感は遠い世界過ぎて、想像が困難でした。

## ■最後に姉は弟を選ぶ

自らに降りかかったNTRを乗り越え、愛する弟と再び固く結びつくストーリー。

十年ぶりに再会し、もう家庭を持つ弟を振り向かせる姉のストーリー。

いずれも『そして、姉は弟（ボク）を選ぶ』の書名の意味が伝わるものでした。



# あねちち

著者	はんぺら
発行	一水社 いづみコミックス
発行日	2014年6月6日

この世の全ての綺麗なおねえちゃんの巨乳は男のコ達のモノなのです！！

実の姉はモチロン！街行く GAL も！美人教師も！カテキヨのお姉さんも！

この世の全ての綺麗な巨乳のおねえちゃんは性欲を持て余した男のコトヤル為にいるのです！

## ■広く年上系の単行本

全姉連会報で紹介するのは初めてとなる作家・はんぺら先生の、姉重視な単行本の4冊目です。

はんぺら先生の今までの単行本は『おねえさんウイスパー』『あねいろ乳果汁』『淫色系お姉さんがしたいコト』のように、どれも姉系のタイトルばかり。

しかし、姉モノ率は100%とまでは至らず、全姉連としてはもどかしい思いをしてきました。

今回紹介する単行本も、姉弟100%ではありませんが、義姉のほか、担任教師（眼鏡）、家庭教師（眼鏡）、兄嫁、隣のお姉さん、果ては実母に至るまで、年上系が勢揃い。実姉原理主義者は回れ右ですが、広く年上好きなら大いに楽しめます。

## ■各話あらすじ

### 「姉弟好き放題」

表紙イラストのお姉ちゃんがヒロイン。

冒頭カラーページから、既に手慣れた様子で絡み合っているのは、その姉と弟。

弟が姉にがっついているのではなく、姉が弟を言いなりにさせている様子で、弟は早く終わらせたがっている（爆発しろ）。



弟が姉のわがままに逆らえないのは、元々弟はそういう身分だから……というだけではなく、子どもの頃、姉に贈った「何でも言うことを聞く券」を今も有効活用しているから。

そんな姉の横暴に一矢報いようと、弟も姉からもらった「何でも言うことを聞く券」を持ち出し、一日天下を目論んでお姉ちゃんにいたずらを……というストーリー。

つり目で強気なお姉ちゃんが、案外弟の言うことを聞いてくれるノリの良さがあつたり、偉そうにしても弟に夢中な面があつたりと、ギャップ萌え度高し。

ブラコン要素は明確に描かれていらないも

の、「実はこのお姉ちゃん、かなりブラコンなのでは……？」と思って行間を読むと、これがなかなかイケます。

弟の安易な下克上作戦は当然に失敗し、やはり姉にはかなわないのだという王道のオチも姉モノならでは。

## 「家族ダイエット！」

小学校高学年くらいの息子と、その母親モノ。母親と言っても見た目は十分お姉さんレベルなので、熟女感はゼロ。

きわどい格好でダイエットに励む母親が、息子に運動の相手をさせているうちに……というものの。



息子は大人しくてウブな小学生で、両親の夜の営みを見ても理解できないが、本能で興味を持ってしまい、全面的に母親のリードでコトに至る。つまりは、完全におねショタです、これ！

自分のしていることの意味もよく分からず、衝動的に母親の体にむしゃぶりつく息子、そんな子どもを優しくあやすように受け入れるママン。

たとえ母モノであっても、この味わいは姉属性にもきっと分かるはず、です。

## 「家庭教師の課外授業」

タイトルが全て語っていますね。

家庭教師をしてくれている叔母さん一と言ってもかなり若いのはお約束一が、実はノーパンで授業をしているのに気付いてしまった主人公男子。



しかし、叔母さんは動じもせず、自分の変態的な性癖を露わにし、受け身な主人公を誘惑し始めます。

画像で分かるとおり、キリッとした眼鏡お姉さんです。この話のほかに、教師モノはあと2話ありますが、いずれもスーツの似合う眼鏡才女です。眼鏡党の皆さん、やったね！

## 「フレンドシップ」

マンションの隣室のお姉さんの荷解きを手伝いに来た、やんちゃそうな男の子。

荷物の中から大人のおもちゃを見つけて、意味も分からず面白がっている男の子を見ているうち、お姉さんにいたずら心が湧いて、男の子にはまだ早いお遊びを教えてしまいます。



手慣れたお姉さんが「よく分かっていない男の子」を言いくるめ、手籠めにするパターンは作者の趣味かつお得意のようで、ポリシーを感じさせます。

## ■おねショタが輝く単行本

姉弟率が低いのは姉マニアにとって物足りないものの、年上モノなら何でも美味しく頂けて、特におねショタ好きの弟紳士であれば、積極的にお薦めしたい姉系本。

実姉×ショタっ弟（こ）が無かったのが残念。意図的に避けている訳ではないと思うので、以降の新刊に期待しましょう。



# ほとんどの姉はHがしたい

著者	聖☆司
発行	メガストアコミックス
発行日	2014年8月2日

だから、今ここに素晴らしい姉単行本があるのは、姉しよが生んだ縁。

あの頃、柊空也になった同志が描く姉漫画が面白くないわけがないのです！

## ONEE-CHAN is JUSTICE

眼鏡で巨乳なむっちりとしたお姉ちゃん、集めました。

描き下ろし漫画+α 16P収録！話題沸騰！

聖☆司が贈る待望の2nd単行本！

## ■姉と巨乳と眼鏡

君はいつから聖☆司先生をご存知か!?

「姉しよのともねえを描いていた頃から」と答えられたら、かなりのマニア認定。

姉しよ全盛期のファン活動を語る時、聖☆司先生を抜きにして語ることはできません。そのくらい姉しよ愛があった有名人なのです。

その先生が放つ、2冊めの単行本（1冊めはタイミングの問題で未紹介ですが、そちらも当然お薦め）が本書。

同人活動では、幅広いジャンルで活躍する先生ですが、成年向け商業誌ではそのほとんどが“巨乳で眼鏡のお姉ちゃん”を描いたもの。まさに表紙イラストのお姉ちゃんのような。

これでも先生は、元々はロリ派。それが、姉しよのともねえに会ったことで姉と巨乳に目覚め、今に至ると言います。

## ■各話あらすじ

### 「信頼の置ける同人AV男優」

ヒロインは女性エロ漫画家。私が売れないと担当に詰め寄ると、知り合いの同人AV男優を紹介してあげると言われ、なし崩し的にホテルに出向くと、その男優とは弟だった！



弟相手に多少は緊張が緩むが、まだもじもじする姉に対して、弟は手慣れた様子。

ここで弟が調子をこくようと白けてしまうのですが、そんなことはなく、姉に気遣うことが出来る弟。

1回戦が終わると、それまでの男優としての顔から、姉ちゃんと甘える弟の顔に変わり、仕事ではない本気プレイに変化していくところが、姉萌え視点の見どころです。



## 「姉弟が見たい姉」

登場人物は、双子の姉妹と、その弟。姉の一人は、性的羞恥心と性的知識が皆無で、風呂あがりもマッパ。弟はその姿をチラ見して興奮するショタっ子。そして、もう一人の姉は、おねショタマニア。

このお話は、1人の姉によって用意周到に組み立てられた、リアルおねショタを身内で実現してしまおうという恐るべき陰謀を描くものだったのだ……!!

本書でもっともおねショタ度の高い作品ですが、作者コメントでもバレバレのように、艦これの姉妹艦×ショタ提督モノであることは明らか。フフ……怖い怖い。



## 「AVよりエロい姉」

弟が、その友人からHなDVDを借りる予定ができたので禁欲生活に入ったことを察知した姉。

酔った勢いもあり、弟の部屋に乱入して、弟をひん剥こうとするその場面は、肉食系の姉と、その餌食となる草食系の弟の図。



ボクっ娘じゃないですよ？ 姉に純潔を奪われることを観念した弟の姿ですよ？

「初めてだから…優しくしてください…」  
この瞬間、姉の方に感情移入してました。  
姉になりたい。

## 「処女姉、考える」

遊び慣れていたような弟と、地味目で未経験の姉。

ある日、姉が欲求不満をこじらせた結果、成り行きで弟と致すことになって……。

お互いにシスコン・ブラコンの気配も姉弟愛も無く、そこにあるのは性的欲求の需要と供給の一致。

なのに、これはこれで興奮するのは、「性的好奇心旺盛な春期の姉弟が、ふとしたきっかけで本番に及んでしまう」という、眞実はともかく我々にとってはリアルな共通の妄想があるからではないだろうか？



## 「単行本って大変だねお姉ちゃん」

エロ原稿のネームができず、イライラのはけ口を弟に求める姉。

ネタ出しが終わると、今度はムラムラのはけ口を弟に求めて、というストーリー。



こちらは双方すでに手慣れた様子で、すでに何度も経験を重ねている姉弟夫婦の味わい。

初々しい花嫁姉タイプもいいのですが、長年連れ添った古女房風の姉の方が姉属性には好まれるかも。

## ■色々な姉が楽しめる姉漫画

様々なシチュエーションで、姉が攻めにも受けにも回るようバランスの取られた1冊です。

各話のネタ作りも上手く、楽しさ十分な姉単行本でした。

ある作品をお薦めされる時、「姉は出ないんですけど、」と前置きされることがあるんですが、いやいや、姉が出なければ一切受け付けないとかそんなことないですから！まあ、そこまで姉フェチと思われれば、全姉連の代表者として大成功ではあります。

なお、姉以外では、金髪碧眼教、日常ゆる系主義、萌え豚上等、はだエプよりはだワイ派です。眼鏡は中立。メカ・ロボ、バトル、男臭はちょっと苦手です。

今号もお読みいただき、ありがとうございます。(あいさつここまで)

すみません、姉ゲーに対してスランプのような状態に陥り、今回も姉ゲー記事がゼロでした。Windowsタブレットも導入し、いつでもどこでも公序良俗の範囲内でプレイできるようにする程度には意欲があったのですが。なんでだろう。

しかし、それを補うかのように姉コミックは好調で、姉ノベルも大健闘。やっぱり姉モノは至高のエンターテインメントですね！

さて、全姉連会報は夏・冬ごとに発行していますが、次回は1回お休みを頂く予定です。

間が空く期間は、全姉連のサイト上の更新で補いたいと思っております。

サイト巡回コースに全姉連も加えて頂ければ幸いです。

更新情報はTwitter(@zenaneren)で随時流しますので、どうぞよしなに。

## 全姉連会報 第21号

**発 行：全姉連 総本部 (<http://www.zenaneren.org/>)**

**発行日：2014年8月17日**

**著 者：全姉連総裁**

**連絡先：[so-sai@zenaneren.org](mailto:so-sai@zenaneren.org)**

**表 紙：姉月 健様**

**印 刷：株式会社ユリクリエイト様**



**本書発行に至るまで、全姉連を通じて多くの同志から姉ゲー情報を頂きました。  
ここにお礼申し上げます。**

**本書へのご感想、ご意見、ご質問はお気軽に上記連絡先までお送りください。**

金妨碍

<http://www.zenneren.org>